



# 末広（校長室だより）

千葉市立末広中学校 校長室だより第11号 令和8年6月11日発行

## 3年生 修学旅行に行ってきました③

第10号に続きまして、3年生の修学旅行3日目の様子をお伝えします。3日目の主な活動は、山元町震災遺構 中浜小学校での震災学習です。

中浜小学校とは、東日本大震災の大津波による甚大な被害を後世に伝え、震災の風化防止と防災意識の向上を目的とし、一般公開しているものです。宮城県南部に残る唯一の被災建築物である校舎を、大津波の痕跡をできる限り残したまま整備しています。



最終日、朝食の様子です



朝食のメニューはこちらです



ホテル入口のウェルカムボードです  
チーバくんにおもてなしの心を感じます



6グループに分かれて語り部ガイドの方々に案内をしてもらいます



このポールは津波の高さに合わせて作られたそうです



校舎の軒の下にある青い印の  
ところまで津波がきたそうです



津波が引いた後には校舎内に  
あるはずのない大木が



津波により校舎の壁や床が  
無残な姿に



津波や高潮への対策が事前に施されていたのにこの惨状です



修学旅行中の最後の食事！  
みんなで「いただきます」



昼食のメニューはこちらです



東北での活動をすべて終え  
仙台駅集合の時の様子です

中浜小学校では、震災の当日に90人が実際に避難をした屋上の屋根裏倉庫（写真撮影禁止）も見学しました。当時のまま残された被災状況を目の当たりにし、いつも元気で笑顔の子たちも神妙な表情で語り部ガイドの方の説明を聞いていました。今の中学3年生は、全員が東日本大震災後に生まれた子たちです。震災の状況を知るとともに、命の大切さ、命を守るための行動について改めて考えてほしいと思いました。

修学旅行のしおりの校長の話として、「修学旅行は行って帰ってきて終わりではありません。修学旅行を通じて学級、そして学年の団結力を高め、末広中学校の良きリーダーとしてさらに活躍できる集団になること。」という内容を記しました。3年生は修学旅行において、友達を気遣い、時間を守り、自分の役割を果たそうと努めていました。友達の新たな魅力を発見し、学年の絆が深まったように思います。3年生のますますの活躍に期待したいと思います。